

# 府中市の「すごい人」を探そう

## ～府中市のすごい人大集合～



日 時 令和3年11月2日(火) 第3校時  
 場 所 3年3組教室  
 学 級 第3学年3組(29名)

### 1 単元のデザイン

#### 本単元の目標

府中市の名物や産業、それに関わる人たちを取材・調査し、府中市の「すごい」を発信する活動を通して、周囲と協力して課題を解決しようしたり他者と考えを伝え合って自分の考えを改めたりしながら、「すごい」には府中市に生きる様々な立場の人たちが存在することを理解し、人と人とのつながりに気づき、自分も府中市に生きる一人であるという意識を高めることができるようにする。

#### 単元観

本単元は、府中市の名物や産業、それに関わる人たちを取材・調査し、府中市の「すごい」を発信する活動を通して、周囲と協力して課題を解決しようしたり他者と考えを伝え合って自分の考えを改めたりしながら、「すごい」には府中市に生きる様々な立場の人たちが存在することを理解し、人と人とのつながりに気づき、自分も府中市に生きる一人であるという意識を高めることをねらいとする。

地域の名物や観光地、それらを支える人から自分の身近な人など幅広い対象が含まれる探究課題であることにより、どの児童も自分の興味・関心がある分野から学習を進めることができる。

#### 本単元と実生活との関わり

本単元で府中市に生きる人を取材・調査することを通して、自分も府中市民の一人であることを自覚し、府中市に対してより愛着をもち、誇りに思うことが期待される。そして、これまでに以上に府中市に関わっていかうとする姿が期待される。

#### 児童生徒観

事前の意識調査の結果は以下の通りである。

内容	肯定的回答
総合的な学習の時間は難しいけど、前向きに取り組もうと思います。	90%
授業では、自分で課題を設定しています。	76%
授業では、課題を解決するために、進んで、資料を集めたり取材をしたりしています。	35%
授業では、情報を比べたり、仲間分けしたり、関係を見付けたりして、何が分かるのか考えています。	58%
授業ではベン図やイメージマップを使って考えています。	34%
授業では、自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝えるように発表を工夫しています。	48%
学習の振り返りをするときには、「どこまで分かったか」、「学習の方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由」を考えています。	41%

以上の結果から、本学級の児童は総合的な学習の時間に前向きに取り組んでいることが分かる。一方、課題として、次の2点が挙げられる。1点目は、課題発見・解決力の定着が不十分であることである。その原因として、自ら外へ働きかけて情報収集することや、視点を明確にして思考ツールを用いながら整理・分析すること、相手意識をもって考えを発信することなどの学習をこれまであまり設定していなかったことが考えられる。2点目は、振り返りが十分にできていないことである。その原因として、毎時間の振り返りに関して明確な視点をもちたせていなかったこと、単元全体など長期的な視点で振り返らせていなかったこと、振り返りを次時へ生かす指導が不十分だったことが考えられる。

#### 指導観

- 単元で解決をめざす課題に「すごい」という広い定義の言葉を使うことで、児童一人一人が自分の考え方や感じ方を基に自分事として課題を設定することができるようにする。
- 情報収集の前に情報収集の視点について話し合い、決定する活動を設定することで、児童が視点をもって情報収集に臨み、その視点に基づいて整理・分析をすることができるようにする。
- ウェビングやKWL、クラゲチャートや座標軸などの思考ツールを用いて考えを可視化することで、児童が活発に話し合ったり、自分の学びを振り返って新たな課題を見付けたりすることができるようにする。
- 児童が自身の学習状況を把握し、学習計画を見直していくことができるように、「学びゲット」を活用して、毎時間、単元毎の学習の振り返りを行う。

## 2 本校の資質・能力と本単元との関わり

学習指導要領に示す目標や内容	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等	
本校	知識及び技能	課題発見・解決力	コミュニケーション能力	粘り強く学習に取り組む態度	自己調整力
本単元	探究的な学習の過程において、地域の名物や産業について知り、それらには多くの人関わっていることを理解すること。	府中市の名物や産業に関わる人や組織から課題を見だし、解決方法を探して計画を立て実行し、振り返りながら次の課題発見・解決につなげていくこと。	自分とは違う考えや意見をもつ人に自分の意見を伝えたり、相手の意見を聞いたりするなどのコミュニケーションを通して、課題解決に向けて協働すること。	自分で設定した課題に進んで取り組み、他者と関わりながら粘り強く課題解決を図ろうとすること。	学習目標に対する成果だけでなく、そこに向かって自分なりに考えたり工夫したり、また、友達と対話したり協働したりすることを通して、自分の考えや計画を修正しようとする。

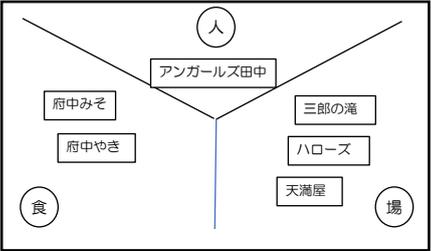
## 3 本単元に関わる問い

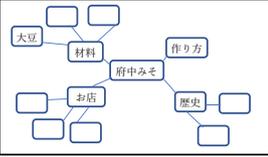
本質的な問い	単元を貫く問い	個別の問い
<ul style="list-style-type: none"> <li>15年後、自分のふるさととどう付き合っていくのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>府中市にはどのような「すごい」があるのだろうか。</li> <li>府中市の「すごい」は「どうすごい」のだろうか。</li> <li>自分は府中市の「すごい」とどう関わっていけるのだろうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>府中市にはどのような「名物」があるのだろうか。</li> <li>府中市にはどんな「すごい」があるのだろうか。</li> <li>府中市の「すごい」はどうやって守られてきたのだろうか。</li> <li>府中市の「すごい」にはどんな人が関わっているのだろうか。</li> </ul>

#### 4 単元の評価規準及びルーブリック

学習指導要領 に示す目標や 内容	資質・能力 (本校)	観点	A	B	C
知識及び 技能	知識及び 技能	知識	地域の名物や産業、そこに携わる様々な人の存在や思いを理解し、その人たちのすごさに気付いている。	地域の名物や産業、そこに携わる様々な人の存在を理解している。	地域の名物や産業、そこに携わる様々な人の存在を理解していない。
		技能	情報を比較し、共通点や相違点を見付けて分類したり関連付けたりしている。	情報を比較し、共通点や相違点を見付けている。	情報を比較しても、共通点や相違点を見付けていない。
		探究的な学習のよさの理解	地域の名物や産業、それに関わる人についての理解が深まったのは、自ら課題を発見し探究してきた成果だと気づき、さらに探究的に学んでいこうと考えている。	地域の名物や産業、それに関わる人についての理解が深まったのは、自ら課題を発見し探究した成果だと気付いている。	地域の名物や産業、それに関わる人についての理解が深まっていない。
思考力、 判断力、 表現力等	課題発見・ 解決力	課題設定	自分の関心から地域の名物や産業に関わる人について課題を見だし、解決方法を考えて追究している。	自分の関心から地域の名物や産業に関わる人についての課題を見だし、解決方法を考えている。	自分の関心から地域の名物や産業に関わる人についての課題を見だしていない。
		情報収集	目的に応じて、自分たちの身近なところから情報を集めている。	自分なりに情報を集めている。	情報を集めていない。
		整理・分析	集めた情報を比較したり、分類したりするなどして、特徴を見付けている。	集めた情報を比較したり分類したりしている。	集めた情報を比較したり分類したりしていない。
		まとめ・表現	自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝えるよう工夫して表現している。	自分の考えとその理由を明らかにして表現している。	自分の考えを表現していない。
学びに向 かう力、 人間性等	コミュニケーション能力	言語能力	言語を通じて、他者とコミュニケーションを取りながら、課題を解決しようとしている。	言語を通じて、他者とコミュニケーションを取っている。	他者と円滑なコミュニケーションを取っていない。
	粘り強く学 習に取り組 む態度	協働性	考えを友達と伝え合いながら深め、よりよい解決方法を見付けていこうとしている。	友達と考えを伝え合っている。	自分の考えを伝えていない。
		粘り強く学習に取り組む態度	失敗しても別の方法を考え取り組むなど、課題解決に向けて意欲的に取り組もうとしている。	途中で諦めそうになっても、他者の方法を取り入れて、再び課題解決に取り組もうとしている。	途中で諦めてしまい、課題解決に取り組もうとしていない。
自己調整力	自己調整力	メタ認知	学習したことや学習の仕方を振り返り、自分の言葉で振り返りシートに記述するとともに、学習や生活に生かしている。	友達の意見を参考にしながら学習したことや学習の仕方を振り返っている。	学習したことや学習の仕方を振り返っていない。

## 5 単元と評価の計画（全 60 時間）

時	学習活動	評価									
		知	思	態	評価規準 (評価方法)						
1 ～ 20	<p><b>府中市の有名なものって何だろう (20)</b></p> <p><b>課題の設定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Yチャートを用いて府中市の有名なものについて考える。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保護者アンケートを用いて自分たちが思う有名なものと大人が思う有名なものの違いについて知り、題材を絞る。</li> <li>・ KWLを用いて府中市の名物（府中味噌、府中焼き）について知っていることや知らないことを整理しチーム毎に課題を設定する。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="292 1104 587 1272"> <thead> <tr> <th>K</th> <th>W</th> <th>L</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>おいしい</td> <td>材料 作り方 値段 他のものとの違い</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;"><b>課題</b> 府中市のすごいもの「府中〇〇」って何だろう。</p> <p><b>情報の収集</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 何について調べていくかチーム毎に確認し、活動計画を立てる。</li> <li>・ 図書やインターネットから名物やその比較対象となる食品についての情報を調べる。</li> <li>・ 味噌蔵で味噌造りを体験したり、府中味噌についてインタビューをしたりする。</li> </ul> <p><b>整理・分析</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調べたり体験したりして分かったことを関連付けながらまとめている。</li> </ul>	K	W	L	おいしい	材料 作り方 値段 他のものとの違い				協	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達と考えを伝え合っている。（思考ツール、発表）</li> </ul>
K	W	L									
おいしい	材料 作り方 値段 他のものとの違い										
			課		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の関心から地域の名物や産業に関わる人についての課題を見だし、解決方法を考えている。（思考ツール）</li> </ul>						
			情		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分なりに情報を集めている。（メモ）</li> </ul>						
			整		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報を比較し、共通点や相違点を見付けている。（思考ツール）</li> </ul>						

<p>21 ～ 60</p>	 <p><b>まとめ</b>    <b>ふり返し</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>分かったことや体験・インタビューを通して感じたことを他チームと交流する。</li> <li>交流する中で自分の活動や成果を振り返る。</li> <li>交流した内容から「府中味噌」や「府中焼き」のすごさについて考える。</li> </ul> <p><b>府中市の「すごい」をさらに探そう (40)</b></p> <p><b>課題の設定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>府中市には他にどんな「すごい」があるのか調べたい場所やものを出し合い、決める。</li> <li>どうやって探すのか、また調べた後どうしたいかなどを話し合う。</li> </ul>			<p>ま</p> <p>メ</p> <p>言</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えとその理由を明らかにして表現している。 (思考ツール、発表)</li> <li>友達の意見を参考にしながら学習したことや学習の仕方を振り返っている。 (「学びゲット」)</li> <li>言語を通じて、他者とコミュニケーションを取っている。 (発表、「学びゲット」)</li> </ul>
<p><b>課</b> 府中市の「すごい」を調べて知らない人に発信しよう。</p>					
	<p><b>情報の収集</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どのような内容を調べるべきかチーム毎に話し合う。</li> <li>チームに分かれて、対象をインターネットで調べたり、インタビューを行ったりしながら調査していく。</li> </ul>	<p>課</p> <p>情</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の関心から地域の名物や産業に関わる人についての課題を見だし、解決方法を考えている。 (メモ)</li> <li>自分なりに情報を集めている。 (思考ツール、メモ)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べたことを報告し合い、自分たちのチームに足りない情報や視点を集める。</li> </ul>		<p>情</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>自分なりに情報を集めている。 (思考ツール、発表、「学びゲット」)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時に気付いた新たな視点で調べるなど、情報をさらに詳しく集める。</li> </ul>			<p>粘</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>途中で諦めそうになっても、他者の方法を取り入れて、再び課題解決に取り組もうとしている。 (思考ツール、メモ)</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 新たな「すごい」の対象を決めて情報を収集する。</li> </ul> <p><b>整理・分析</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 再度、調べたことを交流しながら、「すごい」の情報を整理したり、そこから分かることを分析したりする。</li> </ul> <p><b>まとめ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 府中市の「すごい」を誰に伝えるのか、そしてどのような形でまとめるか話し合う。</li> <li>• 考えた表現方法について商工会議所や市役所の方からアドバイスを頂く。</li> <li>• 表現物にまとめる。</li> <li>• 表現物を商工会議所の方に見ていただき、その際いただいたアドバイスを元に再度まとめ直す。</li> <li>• 表現物を使って発信する。</li> </ul> <p><b>ふり返し</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 対象にした人たちからの反応や、これまでのメモや計画表、成果物などを見返し、これまでの活動や自分の成長について振り返る。</li> <li>• 1年前の自分との違いに気づき、将来、自分は府中市の「すごい」とどう関わっていけるか考え、これからの人生の計画を立て交流する。</li> </ul>	探  知      技			<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域の名物や産業、それに関わる人についての理解が深まったのは、自ら課題を発見し探究した成果だと気付いている。 (思考ツール、メモ)</li> <li>• 地域の名物や産業、そこに携わる様々な人の存在を理解している。 (思考ツール、発表)</li> <li>• 友達と考えを伝え合っている。 (メモ、思考ツール)</li> <li>• 自分の考えとその理由を相手に伝えるために表現しようとしている。 (表現物)</li> <li>• 言語を通じて、他者とコミュニケーションを取っている。 (発表、メモ)</li> <li>• 自分の考えとその理由を相手に伝えるために表現しようとしている。 (表現物)</li> <li>• 友達の意見を参考にしながら学習したことや学習の仕方を振り返っている。 (「学びゲット」)</li> </ul>
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------	--	--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 6 本時の目標及び学習展開

### (1) 本時の目標

これまでに調べたことを交流し、お互いに質問し合ったり、自分たちのウェビングと他のチームのウェビングを比較したりすることを通して、もっと調べるべき情報や調べる視点に気付くことができる。

### (2) 本時の学習展開

主な学習活動	○指導上の留意点 ★評価規準、※評価方法
<p>1 本時で何をやるか確認する。</p> <p>○これまで各チームでそれぞれ「すごい」を調べて情報を収集してきました。それぞれどれくらい「すごい」が集まりましたか。ウェビングを見てください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5こです。</li> <li>・12こです。</li> <li>・24こです。</li> </ul> <p>○その「すごい」は他の人にも「すごい」と言ってもらえるものですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うーん、多分。</li> <li>・聞いてもらわないと分かりません。</li> </ul> <p>○では、どうしますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他のチームの人に聞いてもらいたいです。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>🎒自分たちの「すごい」はみんなに伝わるのだろうか。</p> </div> <p>2 中間報告会のやり方を確認し、ループリックで評価を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>①ロイロノート・スクールでウェビングを見せながら調べて分かったことを発表する。</p> <p>②聞いた人は質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「なぜすごい」「どれくらいすごい」など5W1Hを使う。</li> </ul> <p>③質問に対して答えられるものは答える。答えられないものはメモを取る。</p> <p>④発表するチームと質問するチームを入れ替えて再度行う。</p> </div> <p>○評価はループリックの「知識」「情報収集」でしますね。</p> <p>3 中間報告会を行う。</p> <p>①ウェビングを見せながら調べて分かったことを発表する。</p> <p>②聞いた人は質問する。</p> <p>③質問に対して答えられるものは答える。答えられないものはメモを取る。</p> <p>(例) 府中家具</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・府中家具には300年の歴史があるのですごいです。</li> <li>・300年の歴史って何ですか。→300年ずっと作られ続けたということです。</li> <li>・なぜ300年も続いたんですか。→買う人がいっぱいいたからだと思います。</li> <li>・どんな人が買っていたんですか? →分かりません。調べます。</li> </ul>	<p>○中間報告会がしやすくなるよう、ウェビングの見直しや整理などは事前にさせておく。</p> <p>○中間報告会の流れを意識させるために、流れを黒板に掲示しておく。</p> <p>○目指すべき姿を意識しながら活動することができるよう、ループリックで評価の観点を確認する。</p> <p>○発表者は作ったウェビングをロイロノート・スクールで聞く人に配り、内容を確認しながら発表したり聞いたりできるようにする。</p>

- 府中家具の中には 600 万円を超えるような高級な家具もあるのですごいと思いました。
  - どうしてそんなに高いんですか。
    - 丈夫な木材を使ったり、1つ1つ職人さんが丁寧に作ったりしていて手間暇がかかるからです。
  - なぜそんなに高くても売れるんですか。
    - 丈夫で長持ちする物の方がいいと思う人がいるからだと思います。
  - それはどんな人ですか。
    - 分かりません。
- 家具職人の●●さんは 40 年も職人をしているのですごいと思いました。
  - 40 年職人を続けるのはどのくらいすごいですか。
    - 職人は 1 人前と認められるまでなかなかお金がもらえなくて大変なので、辞める人がいっぱいいます。それでも 40 年続けているのはとてもすごいです。
  - 今府中家具の職人さんは何人いるんですか。
    - 分かりません。
- 家具職人さんは新しいデザインの家具をたくさん生み出しているのですごいと思いました。
  - どんなデザインなんですか。
    - 分かりません。
  - 新しいデザインを生み出すことはなぜすごいですか。
    - 職人さんが、売れるものを新しく考えるのは大変だと言っていたからです。

④発表するチームと質問するチームを入れ替えて再度行う。

4 次時から何について調べていくかチームで話し合う。

- なぜ 300 年も続いたのか、理由が言えなかったから、もう 1 度調べたいね。
- どんな人が府中家具を買っているのかも分からないね。600 万円の家具を買う人ってどんな人なんだろう。

5 次時からどうするか発表する。

- 私たちのチームは、次の時間から「府中家具はどんな人が買っているのか」と「300 年続いている理由」を調べていこうと思います。

6 本時の学習を振り返り、今後の見通しをもつ。

○今日の報告会をしてみてどうでしたか。次回からの計画を変える人は、「学びゲット」に新しい計画を書き込んでおきましょう。

- 報告会をして、どんな人が府中家具を買うのか気になったからどんな人が買うのか調べる。
- ●●さん以外にもどんな家具職人さんがいるのか調べる。

○答えられなかった質問やウェビングの広がり方から、次時の計画を立てる児童の様子を評価していく。

★自分なりに情報を集めている。

※思考ツール、発表、「学びゲット」